

主祭神

■神社では複数の神を祀っており、その中で主として祀られる神

大山咋神

おおもまのぬしのかみ
……名前の「くい(くひ)」は杭のことで、大山に杭を打つ神、すなわち大きな山の所有者の神を意味し、山の地主神であり、また、農耕(治水)を司る神とされる。

大物主神

おおもものぬしのかみ
……大物主は蛇神であり、水神または雷神としての性格を持ち、稲作豊穰、疫病除け、酒造り(醸造)などの神として篤い信仰を集めている。

相殿神

菅原道真公

はにやまひめのかみ
壇山姫神

火産霊神

えびすのかみ
蛭子神

罔象女神

うけもちのかみ
保食神

金毘羅神

みずはのめのかみ
こんびらしん

御由緒

文書による正確な記録はありませんが、『社伝』によると、聖武天皇の天平五年(西暦七三三)、加賀国の住人(道高古)が近淡海国の日枝山大山咋神の神徳に感じてこの地に奉斎したとあります。また『大野郷山王社来由』によると、天平五年六月二十四日、近江国の住人で、大野何某という人が、大山咋神を崇敬していたが、生国が加州大野郷であったので、その子行根に奉遷安置させたといわれています。

大山咋神は、日本最古の書物である『古事記』にもその御神名が記されている比叡山の山の神様であり、麓(滋賀県大津市坂本)に鎮座する日吉大社東本宮の御祭神です。

貞観二年(西暦八六〇)には日吉大社西本宮の御祭神である三輪大物主神を勧請合祀し、大山咋神と共に当社の主祭神としております。

また、明治三十五年に境内末社菅原社を、明治四十年には境内末社の鎮火社・西宮社・稲荷社を合祀して、創建以来、四方破い、商売繁盛、家内安全、厄除けの霊験があらたかとして多くの方より崇敬を受け、今日に至っています。

西暦二〇三三年 創建千三百年大祭 斎行



交通アクセス

■お車でお越しの方

- JR金沢駅より……………約15分
- 北陸自動車道金沢西ICより……………約15分
- 小松空港より……………約40分
- 金沢港より……………約5分

■バスでお越しの方

- 北鉄バス香林坊より
(大野下車徒歩約5分)……………約30分
- JR金沢駅より(本数わずか)
(大野下車徒歩約5分)……………約20分

■JR・タクシーでお越しの方

- JR金沢駅西口よりタクシー利用……………約12分

■徒歩でお越しの方

- 北鉄バス金石ロータリーより……………約20分
- 金沢港より……………約15分



大野日吉神社

〒920-0331 石川県金沢市大野町5丁目81番地
日吉神社社務所 TEL.076(267)5636
お問い合わせ:若林神官宅 TEL.076(267)4588

※WEBサイトのお問い合わせフォームからもご利用になれます。
<http://www.ohnohiyoshi.com>



加賀国 醤油処・金沢大野の古社

大野日吉神社



[年間祭典神事]

1月 1日 歳旦祭
2日 〃
10日 船方(金毘羅宮)祭
2月 3日 節分厄除祭
3月24日 祈年祭
4月 7日 鎮火祭
8日 〃
5月 9日 菅原祭
10日 稻荷祭
6月30日 夏越の大祓式
7月第4土曜日 例祭
第4日曜日 神幸祭
9月20日 西宮祭
21日 〃
11月24日 新嘗祭(新穀感謝祭)
12月23日 天皇誕生祭
31日 年越の大祓式
毎月 1日 月次祭(おつたちまいり)
毎月24日 月例祭



■ 山王祭の見どころ

加
■ 加賀獅子舞
金沢市指定無形民俗文化財